

## 日 誌 (昭和54年2月)

### 【国 内】

- |  |  |
|--|--|
| <p>6日 ○日本銀行、非居住者自由円債務の増加額に対する準備率等の廃止を決定(「要録」参照)</p> <p>7日 ○大蔵省、金融機関に対し土地取得関連融資の自粛を指導</p> <p>8日 ○大蔵省、国債整理基金の資金繰り状況についての試算結果を国会に提出(「要録」参照)</p> <p>9日 ○政府、「54年度地方財政計画」を閣議了承(「要録」参照)</p> | <p>21日 ○大蔵省、金融機関の店舗等用地の取得に関し自粛を指導(「要録」参照)</p> <p>23日 ○政府、非居住者による円建債券の取得禁止措置の廃止を決定(「要録」参照)</p> <p>28日 ○政府、「地方財政収支試算(54年度ベース)」を国会に提出(「要録」参照)</p> |
|--|--|

### 【海 外】

- |  |  |
|--|--|
| <p>1日 ○フランス政府、社会保障関係費支出削減関連措置を閣議決定</p> <p style="padding-left: 20px;">○台湾、外為市場発足、機動相場制を採用</p> <p style="padding-left: 20px;">○タイ、一部品目の輸入禁止措置を解除</p> <p>5日 ○イランに暫定イスラム教政府成立(国王の任命したバクhtアル政権は12日崩壊)</p> <p>6日 ○デンマーク、非居住者の国債取得を禁止</p> <p style="padding-left: 20px;">○南アフリカ準備銀行、公定歩合を引下げ(8.5→8%)</p> <p>8日 ○英蘭銀行、最低貸出歩合を引上げ(12.5→14%)</p> <p style="padding-left: 20px;">○英国、金準備の評価替を発表</p> <p>9日 ○フランス政府、一部ガソリン価格の引上げを決定(10日以降実施)</p> <p style="padding-left: 20px;">○アジア開発銀行、貸出金利引下げを発表</p> <p>10日 ○パキスタン、新経済政策の骨子を発表</p> <p>12日 ○77か国グループ、第4回閣僚会議を開催(16日まで)</p> | <p>15日 ○英国政府および労働組合評議会(TUC)、所得政策について共同声明(Concordat)を発表</p> <p style="padding-left: 20px;">○英蘭銀行、特別預金預入率の一時引下げ(2月19日～3月29日)を発表</p> <p style="padding-left: 20px;">○スリランカ、外国為替管理の緩和を発表</p> <p>17日 ○フランス政府、政府系金融機関貸出金利の引下げを発表(19日以降実施)</p> <p>19日 ○香港、貸出プライムレートを引上げ</p> <p>21日 ○豪州準備銀行、支払準備率引上げを発表</p> <p>22日 ○EC委員会、78年域内経済年次報告を発表</p> <p>23日 ○IMFの補完的信用供与制度、発効</p> <p style="padding-left: 20px;">○カナダ政府、金貨発行計画を発表</p> <p>25日 ○サウジアラビア、外資規則の一部を緩和</p> <p>26日 ○カーター大統領、緊急エネルギー節約計画を発表</p> <p style="padding-left: 20px;">○レバノン、為替管理を導入</p> |
|--|--|

2月号18頁16行を次のとおり訂正いたします。

「誤」                      →                      「正」

「貯蓄プレミアムの廃止」 → 「貯蓄プレミアムの削減」